

平成 23 年 6 月 15 日
内閣府公共サービス改革推進室

民間競争入札実施事業
海外移住資料館の管理・運營業務の評価（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 7 条第 8 項の規定に基づく標記事業の評価は以下のとおりである。

I 事業の概要等

1 実施の経緯及び事業の概要

独立行政法人国際協力機構（以下「機構」という。）が実施する「海外移住資料館の管理・運營業務」については、公共サービス改革基本方針（平成 19 年 12 月 24 日改定を閣議決定）において、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律に基づく民間競争入札（以下「民間競争入札」という。）を実施することを決定した。これを受けて機構は官民競争入札等監理委員会の議を経て定めた『海外移住資料館』の管理・運營業務 民間競争入札実施要項（以下「実施要項」という。）に基づき、民間競争入札を実施し、受託事業者を決定した。その概要は以下のとおりである。

事 項	内 容
業務内容	「海外移住資料館」の管理・運營業務（常設展示室及び収蔵庫の保守業務、収集・所蔵資料にかかる学芸業務、特別展示・企画展示等業務、資料館案内業務、図書資料室業務、情報展示システム運用業務、情報検索システム運用業務、教育プログラム業務、広報業務 等）
契約期間	平成 21 年 3 月 16 日から平成 24 年 3 月 31 日までの 3 年 1 か月間
受託事業者	財団法人 海外日系人協会
契約金額	224,702,100 円（税込）
事業の実施に当たり 確保されるべき質	<ul style="list-style-type: none"> ○入館者数を 3 万人以上確保すること。 ○教育プログラム受講者数を 1,894 名以上確保すること。 ○ホームページアクセス数を 113,182visit 以上確保すること。

2 受託事業者決定の経緯

入札参加者は2者であり、いずれも入札参加資格及び必須審査項目を満たしていた。平成20年12月25日に開札したところ、2者とも予定価格の範囲内であったことから、この2者について総合評価を行い、上記受託事業者が落札事業者となった。

II 評価

1 評価方法について

機構から提出された平成21年度及び22年度の実施状況についての報告（別添）に基づき、サービスの質の確保、実施経費等の観点から、実績評価を行うものとする。

2 対象公共サービスの実施内容に関する評価

(1) 対象公共サービスの達成水準（入館者数、教育プログラム受講者数、ホームページアクセス数（visit数））

ア 実施結果

確保されるべき達成目標として設定された「入館者数」「教育プログラム受講者数」「ホームページアクセス数（visit数）」について、その実施結果は以下のとおりである。

区 分	確保されるべきサービスの達成目標	実績		達成率	
		21年度	22年度	21年度	22年度
入館者数（人）	年間3万人以上を確保する。	39,056	26,531	130%	88%
教育プログラム受講者数（人）	年間1,894人以上を確保する。	4,684	4,832	247%	255%
ホームページアクセス数（visit数）	年間113,182visit以上を確保する。	160,870	136,627	142%	121%

※上記の目標をすべて満たし、かつ入館者数について目標値の10%の超過を達成した場合は、インセンティブ（報奨金）として、契約金額（当該年度分）の1%に相当する金額を支払う。

イ 評価

受託事業者は、確保されるべき質として設定された「入館者数」「教育プログラム受講者数」「ホームページアクセス数（visit数）」を達成するために、各種展示、イベント、講座の実施の際に、様々な工夫を行っている。例えば、平成21年度には、横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」の機会を利用し、港横浜と移住者との関わりについて写真、映像で紹介するなど、近隣で行われている認知度の高いイベント・事業との連携を図るとともに、写真等を多用し視覚

的にわかりやすい展示を行っている。また、移民カルタ、移民トランクの製作等、教育プログラム内容を充実させるとともに、広報強化策としては、新規広告媒体の開拓や大手マスコミへのプレスリリースや教員向け媒体での広報など広報効果の高い媒体での集中的広報を行った。

さらにホームページにおいても、国内外の移住資料館、日系社会博物館等とのネットワーク化を進めるとともに、内容の充実を図った。

こうした取組の結果、設定された達成目標については、概ね目標を上回る実績となっている。22年度における入館者数こそ目標数値を下回ったが、これはAPEC開催に伴う「みなとみらい」地区の警備強化による同地区の集客数の減少や3月11日に起こった東日本大震災に伴う自主閉館等が影響していると考えられ、やむを得ない面があるとも言え、全体としては概ね確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

(2) 管理・運営業務の実施状況

ア 実施結果

評価項目	業務内容	平成 21 年度実績	平成 22 年度実績	平成 19 年度実績
(1) 情報照会者数 (情報照会対応件数)	入館者ならびに電話、E-mail での情報照会について随時対応	729 件	400 件	353 件
(2) 入館者、情報照会者、海外移住資料館だより読者アンケート結果 (満足度)	常設展示 (総合評価)	82.9%	80.1%	実施せず
	情報照会対応	100.0%	98.5%	
	海外移住資料館だより	79.6%	74.5%	
(3) 企画展示、特別展示棟イベント実施実績	特別展示 年間 3 回実施	4 回実施	4 回実施	4 回実施
	企画展示 契約期間中 2 回実施	1 回実施	—	実施せず
	公開講座 年間 3 回実施	3 回実施	3 回実施	3 回実施
(4) 移住関連資料等の収集数	「図書資料室 (海外移住) 業務」において、日本人の海外移住の歴史、日系社会に関する資料、情報の収集・整理・保管	1,924 件	1,263 件	785 件
		関連図書、標本等各種資料を寄贈、購入、取得等、実施要項に定められた方法で収集を行った。		
(5) 情報検索システム登録数	「学芸業務」において、シソーラスプロジェクトのフォローの実施：用語の追加登録 目標値 600 件	866 件	687 件	150 件
(6) 国内外の移住資料館等との連携状況 (ネットワーク化プロジ	各機関と連携を図りながら、DMS (デジタル・ミュージアム・スペ	【新規製作・公開サイト】 ・「アルゼンチン日本人移民史」 ・企画展示「海を渡った花嫁物語」		【新規製作】 該当なし

エクト等)、情報提供状況	ース) 既存サイトの運用、新規サイト製作、公開	・特別展示「移民のくらし」 【既存サイト運用】 ・「広島市デジタル移民博物館」との連携	【既存サイト運用】 広島市 ボリビア
(7)トラブル・クレーム対応状況		【トラブル対応】 ・常設展示室内及び収蔵庫内に設置されている展示資料、展示什器、設備等の定期的な点検・保全 ・簡単な補修等については即時対応 ・トラブル発生時には機構に連絡の上、機構が契約する修繕業者と連絡調整 【クレーム対応】 ・原則、即時かつ適切に対応 ・困難案件については、機構に遅滞なく報告	
(8)海外移住資料館関連資料等の販売実績		絵ハガキ：284 枚 絵ハガキ：236 枚 ストラップ：375 本 移住船模型：9 個	販売実績なし

イ 評価

管理・運營業務の実施状況については、従来から実施してきた内容や水準は確保できており、目標を設定している部分についても達成できている。また、満足度調査においても概ね良好な結果が得られていることから、業務は適切に行われていると評価できる。

(3) 実施経費

平成 21 年度から平成 23 年度に係る 3 年間の事業として民間競争入札を実施し、入札者が提出した企画書及び入札金額について、総合評価（加算方式（技術点 200 点、価格点 100 点））を行い、落札者を決定した。落札額は、従来の実施経費（平成 19 年度の実績値の 3 カ年分）の 92%に相当する 224,702,100 円（税込）となっている。

平成 21 年度及び平成 22 年度における本事業における実施経費（上記落札額による支払い分及びインセンティブ支払い分）と従来の実施経費（平成 19 年度）との比較は以下のとおりである。

本契約に基づく民間事業者への支払額は、平成 21 年度が 7,576 万円（うち、インセンティブ支払い分 75 万円）、22 年度が 7,448 万円（インセンティブ支払い分なし）であり、従来の実施経費に比べ、それぞれ 608 万円、735 万円の経費が削減されている。

(単位：円)

区分	従来経費（平成19年度） (A)	契約に基づく支払額		従来の実施経費との差	
		21年度 (B)	22年度 (C)	(B) - (A)	(C) - (A)
契約額	81,832,000	75,005,700	74,480,700		
インセンティブ支払分	—	750,057	なし		
支払額合計	81,832,000	75,755,757	74,480,700	▲6,076,243	▲7,351,300

※事業の実施にあたり確保されるべき質をすべて確保し、かつ入館者数について目標値の10%の超過を達成した場合は、インセンティブ（報奨金）として、契約金額（当該年度分）の1%に相当する金額を支払っている。

3 評価のまとめ

業務の実施にあたり確保されるべき達成目標として設定された「入館者数」、「教育プログラム受講者数」及び「ホームページアクセス数」は、22年度の入館者数を除けば、すべて達成目標を上回る成果を挙げている。22年度の入館者数が達成目標数を下回ったことについては、東日本大震災等、民間事業者の責めによらない外的環境の影響も大きいと考えられるところであり、全体的に民間事業者が創意工夫を活かし、当該業務の実施に努めたことは、十分評価できる。

実施経費についても、従来の実施に要した経費の約92%に相当し、1年間あたり約670万円の経費が削減されており、公共サービスの質の維持向上、経費の削減の双方の実現が達成されたものと評価できる。

このため、次期事業においても、引き続き民間競争入札を実施することが適切と考えられる。

次期事業の民間競争入札の実施にあたっては、受託実績のない民間事業者においても企画書の提案が可能となるよう、実施要項に本実施状況の内容を十分に情報開示し、さらなる競争性の確保に努めるべきである。

また、当該施設の目的が海外移住に関する知識の普及であることから、入館者を増やすための提案や特別展示等の提案に対する配点を高めることを検討するとともに、民間事業者のモチベーションの向上の観点から、インセンティブの設定項目についてもさらに検討を加える必要がある。

平成 23 年 5 月 27 日
独立行政法人 国際協力機構

民間競争入札実施事業
「海外移住資料館」の管理・運營業務の実施状況について
(平成 21 年度及び 22 年度)

I 事業の概要

1. 委託業務内容
「海外移住資料館」の管理・運營業務
2. 業務委託期間
平成 21 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで
(契約期間は平成 21 年 3 月 16 日から平成 24 年 3 月 31 日まで)
3. 受託事業者
財団法人 海外日系人協会

II 確保されるべき質の達成状況、管理・運營業務の実施状況および評価 (平成 21 年度及び 22 年度)

1. 事業の実施にあたり確保されるべき質の達成状況
(1) 評価指標 (入札実施要項 第 2 条 第 5 項)
各年度において入館者数を 3 万人以上(※1)、教育プログラム受講者数を 1,894 名以上、ホームページアクセス数を 113,182visit 以上(※2)確保すること。

(2) 結果

平成 21 年度及び 22 年度における各指標の実績は表 1 のとおりである。

① 入館者数

平成 21 年度は評価指標を大きく上回った。これは、企画展示 1 回、特別展示 4 回、イベント 2 回、そして公開講座 3 回を魅力のある内容で効果的に実施したこと、及び海外移住資料館（以下、「資料館」）が位置する横浜・「みなとみらい」地区において、横浜開港 150 周年記念テーマイベント「開国・開港 Y150」の開催により当該地区の集客数が例年より多かったことが要因と考えられる。

平成 22 年度は評価指標の 90%の達成率となった。これは、APEC 開催（2010 年 11 月）に伴い、横浜・「みなとみらい」地区の警備が数ヶ月（同年 9 月から 11 月）にわたり強化され、交通規制、立入禁止区域が設定されるなど当該地区への集客数が大幅減となったこと、及び東日本大震災後、3 月 12 日以降 3 月 31 日まで自主閉館を行ったこと等が要因である。なお、平成 22 年度には特別展示 4 回、イベント 4 回、公開講座 3 回を実施し、これらイベントの広報については、資料館で実施した過去のアンケート結果等を分析し、新規広告媒体の開拓、広報効果の高い媒体での集中的広報、教員向け媒体での広報など、広報活動を強化して積極的に集客を図った結果、特別展示等開催期間中は対前年比で入館者数増を達成している。

② 教育プログラム受講者数

移民カルタ、移民トランクの製作等、教育プログラム内容の充実、広報強化が図られ、平成 21 年度、平成 22 年度とも評価指標を大きく上回った。

③ ホームページアクセス数

国内外の移住資料館、日系社会博物館等とのネットワーク化を進めるとともに、内容の充実、定期的更新を図った結果、平成 21 年度、22 年度とも評価指標を上回った。

④ 質の達成状況

以上の結果から、資料館運営・管理にかかる質は確保されたと評価できる。

表 1：入館者数、教育プログラム受講者数、ホームページアクセス数の実績

	平成 21 年度 (2009 年)			H22 年度 (2010 年)		
	評価指標	実績	割合 (%)	評価指標	実績	割合 (%)
入館者数(人)	30,000	39,056	130%	30,000	26,531	88%
教育プログラム受講者数(人)	1,894	4,684	247%	1,894	4,832	255%
ホームページアクセス数(visit)	113,182	160,870	142%	113,182	136,627	121%

※1：入館者数目標値は平成 18 年度及び 19 年度実績レベル。資料館は国際協力機構横浜センター（以下、「機構」）施設内にあり、センター内には国際協力に関する展示等も行われている。入館者数として評価するのは、センター内の展示ではなく、資料館見学を目的として入館する入館者に限定してカウントしたもの。入館者数は、資料館内の受付において集計した。

※2：教育プログラム受講者数、ホームページアクセス数の目標値は、平成 19 年度実績レベル。

2. 管理・運営業務の実施状況（入札実施要項 第 10 条 第 2 項）

(1) 情報照会者数（※1）

入館者ならびに電話や E-mail での情報照会について随時対応した。情報照会対応件数は表 2 のとおりである。その中でも、教育・研究機関、大手マスコミ等からの情報・資料照会が増加しており、海外移住に関する情報に関して、資料館が国内の中心的存在になったと評価できる。

表 2：情報照会対応件数

	H21 (2009)		H22 (2010)	
		729		400
情報照会対応	うち、主要照会者・数			
	地方自治体	20	12	
	教育機関	12	17	
	マスコミ	55	31	

※1：情報照会対応は、以下の各業務にて実施される。

- ・「学芸業務」：学術的な照会への対応（常設展示の解説、質問対応）
- ・「資料館案内業務」：問い合わせ等への対応

・「図書資料室（海外移住）業務」：情報照会対応

(2)入館者、情報照会者、海外移住資料館だより読者アンケート 調査結果

「資料館案内業務」、「図書資料室（海外移住）業務」、「広報業務」において、それぞれ入館者、情報照会者、資料館だより読者を対象にアンケートを実施し、資料館管理・運営業務について評価を求めたところ、表 3、及び別添 1～3 のとおりの結果を得た。

表 3：アンケート結果の概要

	平成 21 年度（2009 年）		H22 年度（2010 年）	
	満足度（※1）	サンプル数	満足度	サンプル数
常設展示（総合評価）	82.9%	544	80.1%	259
情報照会対応	100.0%	52	98.5%	34
海外移住資料館だより	79.6%	351	74.5%	146

※1：満足度は、5段階評価で「とても良い」「良い」の選択肢を選択した割合をもとに算出。

平成 21 年度、及び平成 22 年度とも、80%前後の回答者が対応に満足していることから、適切な対応が確保されたことを確認した。

(3)企画展示、特別展示等イベント実施実績

① 特別展示

特別展示は資料館の目的、方針等を踏まえ、展示が適切と考えられる展示品を所蔵する外部団体等と協力し、委託先事業者の提案に基づき年間 3 回実施するもの。平成 21 年度は 4 回、平成 22 年度は 4 回（うち 1 回は、前年度 3 月 9 日より開催）実施し、機構が設定した回数を上回った。また、展示内容は従来実施してきた内容・水準が確保されるとともに、著名人の活用や学術的要素等を盛り込んだ付帯イベントを行うなど付加価値を加えた結果、アンケート結果、期間中入場者数とも良好な結果となり、適切に履行されたことが確認できた。

平成 21 年度及び平成 22 年度の開催実績詳細は別添 4 のとおりである。

② 企画展示

企画展示は、資料館学術委員会を中心とする学術研究成果に基づく展示で、入札要項に定められた実施回数は、平成 21 年度から平成 23 年度末の契約期間中に 2 回である。

平成 21 年度に 1 回実施（平成 22 年度は未開催）し、学術委員会との適切な連携を行い、特別展示同様、付帯イベントも実施し、アンケート結果、期間中入場者数も良好な結果となり、適切に履行されたことが確認できた。

平成 21 年度の開催実績詳細は別添 4 のとおりである。

③ 公開講座

平成 21 年度、平成 22 年度ともに 3 回実施し、機構が設定した回数（3 回/年）を遵守した。また、従来実施してきた内容・水準を守り、適切に履行されたことが確認できた。

平成 21 年度及び平成 22 年度の開催実績詳細は別添 4 のとおりである。

④ その他、イベント等

委託事業者の自主的努力として資料館独自のイベント開催や JICA 横浜や地域で行われるイベントへ参加し、海外移住についての知識普及、及び資料館の広報に寄与した。平成 21 年度及び平成 22 年度は、神奈川県、横浜市が実施するイベントに参加したほか、資料館独自のイベントを積極的に

開催した。

平成 21 年度及び平成 22 年度の開催実績詳細は別添 4 のとおりである。

(4) 移住関連資料等の収集数

「図書資料室（海外移住）業務」において、日本人の海外移住の歴史、日系社会に関する資料、情報を収集し、整理、保管を行った。資料の収集にあたっては、関連図書、標本等各種資料を寄贈、購入、取得等、実施要項に定められた方法で適切な収集を行った。資料受入実績数は表 4 のとおりである。

表 4：資料受入実績数

	平成 21 (2009) 年度	平成 22 (2010) 年度	合計
寄贈	1,376	612	1,988
購入(※1)	32	305	337
取得	219	198	417
移管	297	—	297
論文タイトル登録	—	148	148
受入合計	1,924	1,263	3,187

※1：資料購入にあたっては、機構の方針に基づき委託先事業者が資料購入計画の作成、業者からの見積徴収等の連絡調整、及び取り纏め業務を実施。資料の購入は機構が実施した。

(5) 情報検索システム登録数

「学芸業務」において、シソーラスプロジェクト（※1）のフォローを実施すべく、用語の追加登録を実施した。入力件数（表 5 参照）は平成 21 年度 866 件、平成 22 年度 687 件となり、各年度当初に定めた目標値 600 件を上回る件数を入力し、適切に業務を実施した。

表 5：情報検索システム登録数

	平成 21 (2009) 年度	平成 22 (2010) 年度	合計
用語の追加登録	866	687	1,553

※1：移住に関する専門用語及びその類似語データベースをつくとともに、各標本、資料類の登録情報を拡充し、情報検索機能、情報提供機能を向上させる。

(6) 国内外の移住資料館等との連携状況（ネットワーク化プロジェクト等）、情報提供状況

各機関と連携を図りながら、DMS（デジタル・ミュージアム・スペース）既存サイトの運用に加え、新規サイト製作、公開を行った。ネットワーク化に当たっては、毎年度 1～2 件のペースですすめた。ホームページアクセス数の実績からも分かるとおり、質を高めたとともに、適切な運用が図られた。平成 21 年度及び平成 22 年度の運用、製作、公開実績詳細は別添 5 のとおりである。

(7) トラブル・クレーム対応状況

常設展示室内及び収蔵庫内に設置されている展示資料、展示什器、設備等の点検・保全を定期的に行い、簡単な補修等（資料の固定等）については委託先事業者が即時に対応した。委託先事業者により対処が困難と判断されたトラブル発生時には機構に連絡したうえで、機構が契約する修繕業者と連絡調整

を行った。緊急時対応（※1）が必要となった場合には、機構に連絡したうえで、入館者の安全を第一の目的とし、適切に対応した。

クレーム対応についても、その内容に応じて原則、即時、かつ適切に対応した。委託先事業者による対応が困難と判断されたクレームについては、機構に遅滞なく連絡が行われた。

なお、毎日の状況について、日誌を作成し機構に報告が行われ、改善が必要な事項について情報共有が可能な体制が構築されている。

※1：資料館設備・備品等、情報展示システムの不具合発生時の対応、地震発生時における常設展示室の状況確認・施設点検、不審者対応など。

(8) 海外移住資料館関連資料等の販売実績

平成 21 年度は、機構が所有する資料を活用し、資料館業務に関連の深い絵葉書 10 種を製作し、販売を開始した。平成 22 年度には新たな商品（ストラップならびに移住船模型）の販売を開始した。いずれの商品も一定の売れ行きを確保した。

販売実績は表 6 のとおりである。

表 6：資料館グッズ販売実績

	平成 21 (2009) 年度	平成 22 (2010) 年度	合計
絵ハガキ (10 種) ※1	284 枚	236 枚	520 枚
ストラップ (オリジナル・十二支) ※2	—	375 本	375 本
移住船模型 ※3	—	9 個	9 個

※1：絵はがきは、平成 21 年 10 月 1 日より 50 円/枚で販売開始。移住に関連する写真等。

※2：ストラップは、平成 22 年 7 月 15 日より 300 円/本で販売開始。エクアドル在住日系人が製作。収益はエクアドル国マンタ市託児所の児童の食事代として寄付。

※3：移住船模型は、平成 22 年 10 月 1 日より 2,000 円～2,500 円/個で販売開始。「あるぜんちな丸」、「ぶらじる丸」の 2 種類。

3. 評価

「平成 21 年度及び平成 22 年度における確保されるべき質の達成状況」について、入館者数については平成 22 年度に目標達成率 88%という結果となったが、これは APEC 開催に伴い警備が強化され、長期にわたり「みなとみらい」地区への立入制限、交通規制が行われたこと、及び東日本大震災後、3 月 12 日以降 3 月 31 日まで自主閉館（なお、当該時期に特別展示が開催中（1 月 21 日～3 月 21 日）であり、同展示には大震災発生前に大手マスコミからも取材を受け放映がなされたため、多くの入館者が期待されたが、上記閉館により入館者確保の機会を逸した）を行ったこと等が要因であり、やむを得ないものであった。この点を除けば、いずれの項目も評価指標を大きく上回っており満足のいく結果となった。

ただし、資料館の目的が海外移住に関する知識の普及であり、海外移住が戦前・戦後を通じて、当時の日本の社会、経済状況を反映した事象であったこと、移住者とその子孫である日系人の功績が我々の日常生活と密接な関係があること等から、教育的見地からも学べる点は多く、リピーターだけでなく新規関心層の確保が重要である。平成 23 年度には、広報の強化等を通じ魅力のある展示の展開・発信が必要である。

また管理・運営業務の実施状況について、従来から実施してきた内容または水準を守り、かつ、各種のコンプライアンス（著作権、個人情報管理、安全対策等）を遵守し、適切に業務が行われた。

メールマガジン内容の拡充、ホームページコンテンツの強化、児童向けコンテンツ改善、教育プログラム展開の強化を通じ、大手マスコミや出版社、教育機関からの、各自のコンテンツ作成に必要な資料や情報提供の依頼が増加しており、海外移住、日系社会に関する中心機関としての認識が強化されたと評価できる。

Ⅲ 実施経費の状況及び評価（平成 21 年度及び 22 年度）

1. 対象公共サービスの実施に要した経費

【平成 21 年度】 75,005,700 円

【平成 22 年度】 74,480,700 円

*平成 21 年度は評価指標を達成したため、インセンティブ（委託契約書第 13 条第 3 項に基づき、当該年度契約金額の 1%）として上記支出実績に加え 750,057 円を支払っている。インセンティブ支給の要件は以下のとおりである。

【要件】契約書第 13 条「請求金額の確定及び支払」第 3 項
「前項の支払いに加え、以下の条件を全て満たした場合は、報奨金として契約金額（当該年度分）の 1%に相当する金額を支払うものとする。

（1）以下のア、イ、ウを達成する。

（2）以下のアについては目標値の 10%の超過を達成する。

ア. 入館者数 各年度において入館者数を 3 万人以上確保すること。

イ. 教育プログラム受講者数 各年度において、教育機関等からの入館者を対象に実施する教育プログラムの受講者数を 1,894 人以上確保すること。

ウ. ホームページアクセス数 各年度において、ホームページアクセス数を 113,182Visits 以上確保すること。

2. 従来の実施に要した経費との比較

表 7：経費の比較

	平成 19 (2007) 年度	平成 21 (2009) 年度	平成 22 (2010) 年度
契約金額（年額・税込）	81,832,000 円※1	75,005,700 円	74,480,700 円
インセンティブ		750,057 円	
実施経費	81,832,000 円※1	75,755,757 円	74,480,700 円
平成 19 年度との比較 （下段はインセンティブ 込みの比較）		6,826,300 円 (92%) 6,076,243 円 (93%)	7,351,300 円 (91%)

※1：実際の契約金額から、今回対象外とした業務に必要な経費は除外して記載している。

3. 評価

平成 21 年度は年間 6,826,300 円、平成 22 年度は年間 7,351,300 円の経費節減となり、平成 19 年度に比べ約 1 割低いコストで確保すべき質を維持したことから、効率的に業務が実施されたものと評価できる。

以上

別表：

評価項目	業務内容	平成 19 年度実績	平成 21 年度実績	平成 22 年度実績
(1)入館者数		30,033 人	39,056 人	26,531 人
(2)教育プログラム参加者数		1,894 人	4,684 人	4,832 人
(3)ホームページアクセス数		113,182 件	160,870 件	136,627 件
(4)情報照会者数（情報照会対応件数）	入館者、電話、E-mail での情報照会対応	353 件	729 件	400 件
(5)入館者、情報照会者、海外移住資料館だより読者アンケート結果（満足度）	常設展示（総合評価）	実施せず	82.9%	80.1%
	情報照会対応	実施せず	100.0%	98.5%
	海外移住資料館だより	実施せず	79.6%	74.5%
(6)企画展示、特別展示棟イベント実施実績	特別展示 年間3回実施	4回実施	4回実施	4回実施
	企画展示 契約期間中2回実施	実施せず	1回実施	—
	公開講座 年間3回実施	3回実施	3回実施	3回実施
(7)移住関連資料等の収集数	日本人の海外移住の歴史、日系社会に関する資料、情報の収集・整理・保管	785 件	1,924 件	1,263 件
			関連図書、標本等各種資料を寄贈、購入、取得等、実施要項に定められた方法で収集を行った。	
(8)情報検索システム登録数	シソーラスプロジェクトのフォローの実施：用語の追加登録 目標値 600 件	150 件	866 件	687 件
(9)国内外の移住資料館等との連携状況（ネットワーク化プロジェクト等）、情報提供状況	各機関と連携を図り、DMS（デジタル・ミュージアム・スペース）既存サイトの運用、新規サイト製作、公開	【新規製作】 該当なし 【既存サイト運用】 ・広島市 ・ポリビア	【新規製作・公開サイト】 ・「アルゼンチン日本人移民史」 ・企画展示「海を渡った花嫁物語」 ・特別展示「移民の暮らし」 【既存サイトの運用】 ・「広島市デジタル移民博物館」との連携	
(10)トラブル・クレーム対応状況			【トラブル対応】 ・常設展示室内及び収蔵庫内に設置されている展示資料、展示什器、設備等の定期的な点検・保全 ・簡単な補修等については即時対応 ・トラブル発生時には機構に連絡の上、機構が契約する修繕業者と連絡調整 【クレーム対応】 ・原則、即時かつ適切に対応 ・困難案件については、機構に遅滞なく報告	
(11)海外移住資料館関連資料等の販売実績		販売実績なし	絵ハガキ：284 枚	絵ハガキ：236 枚 ストラップ：375 本 移住船模型：9 個

平成21年度 海外移住資料館 常設展示利用者アンケート

サンプル数: 544 件(未回答項目あり)

【常設展示について】

Q1: 展示の内容について

	とても良い	良い	普通	あまり良くない	良くない
4月	28	22	8	1	0
5月	37	36	10	0	0
6月	27	14	8	0	0
7月	28	8	10	2	2
8月	29	18	3	1	2
9月	46	18	8	1	0
10月	17	5	0	1	2
11月	14	3	1	1	0
12月	6	9	2	1	0
1月	11	3	3	0	0
2月	17	7	2	1	3
3月	26	14	6	0	1
合計	286	157	61	9	10

満足度(%)
84.7

Q2: 展示ガイドによる展示解説について

	とても良い	良い	普通	あまり良くない	良くない
4月	26	24	4	0	0
5月	34	22	12	2	0
6月	27	12	6	0	0
7月	20	11	10	0	4
8月	21	17	5	1	3
9月	32	22	9	3	0
10月	13	4	2	0	1
11月	10	4	2	1	0
12月	6	10	1	0	0
1月	8	4	3	0	1
2月	12	9	3	1	3
3月	20	16	3	2	2
合計	229	155	60	10	14

満足度(%)
82.1

Q3: 受付の対応について

	とても良い	良い	普通	あまり良くない	良くない
4月	38	13	6	0	0
5月	44	17	10	1	0
6月	27	10	8	1	0
7月	22	14	6	1	3
8月	24	12	10	0	2
9月	34	20	7	1	0
10月	15	0	4	0	1
11月	14	3	2	0	0
12月	7	7	3	0	0
1月	13	4	2	0	0
2月	12	8	2	3	3
3月	25	9	10	0	1
合計	275	117	70	7	10

満足度(%)
81.8

総合評価

	とても良い	良い	普通	あまり良くない	良くない
4月	92	59	18	1	0
5月	115	75	32	3	0
6月	81	36	22	1	0
7月	70	33	26	3	9
8月	74	47	18	2	7
9月	112	60	24	5	0
10月	45	9	6	1	4
11月	38	10	5	2	0
12月	19	26	6	1	0
1月	32	11	8	0	1
2月	41	24	7	5	9
3月	71	39	19	2	4
合計	790	429	191	26	34

満足度(%)
82.9

※1 満足度:「とても良い」「良い」という選択肢を回答した割合

平成22年度 海外移住資料館 常設展示利用者アンケート

サンプル数: 259件(未回答項目あり)

【常設展示について】

Q1: 展示の内容について

	とても良い	良い	普通	あまり良くない	良くない
4月	16	14	4	0	0
5月	13	13	4	0	3
6月	2	4	4	0	1
7月	16	6	0	0	0
8月	15	9	3	2	1
9月	8	10	5	0	0
10月	13	8	1	0	1
11月	4	6	2	0	0
12月	7	5	3	0	1
1月	13	7	2	0	1
2月	9	6	2	0	0
3月	1	2	0	0	0
合計	117	90	30	2	8

満足度(%)
83.8

Q2: 展示ガイドによる展示解説について

	とても良い	良い	普通	あまり良くない	良くない
4月	17	9	3	2	0
5月	10	9	7	0	3
6月	1	3	4	0	1
7月	15	5	0	0	0
8月	11	7	3	2	2
9月	4	7	8	0	0
10月	11	6	3	0	0
11月	3	6	2	0	0
12月	5	3	2	0	1
1月	10	7	3	1	0
2月	9	3	4	0	1
3月	2	1	0	0	0
合計	98	66	39	5	8

満足度(%)
75.9

Q3: 受付の対応について

	とても良い	良い	普通	あまり良くない	良くない
4月	16	8	6	1	2
5月	13	5	9	0	3
6月	5	2	3	0	0
7月	12	5	3	0	0
8月	16	6	6	0	0
9月	13	7	1	0	1
10月	13	1	3	0	0
11月	4	7	1	0	0
12月	8	3	2	0	0
1月	10	6	3	0	0
2月	13	5	1	0	0
3月	1	2	0	0	0
合計	124	57	38	1	6

満足度(%)
80.1

総合評価

	とても良い	良い	普通	あまり良くない	良くない
4月	49	31	13	3	2
5月	36	27	20	0	9
6月	8	9	11	0	2
7月	43	16	3	0	0
8月	42	22	12	4	3
9月	25	24	14	0	1
10月	37	15	7	0	1
11月	11	19	5	0	0
12月	20	11	7	0	2
1月	33	20	8	1	1
2月	31	14	7	0	1
3月	4	5	0	0	0
合計	339	213	107	8	22

満足度(%)
80.1

※1 満足度:「とても良い」「良い」という選択肢を回答した割合

平成21年度及び平成22年度 海外移住資料館 照会対応アンケート

平成21年度(サンプル数:52件)

1. 対応者の対応について

月	とても良い	良い	普通	あまり良くない	良くない
4-6月	7	1	0	0	0
7-9月	11	0	0	0	0
10-12月	20	3	0	0	0
1-3月	9	1	0	0	0
合計	47	5	0	0	0

満足度 100.0

2. 問い合わせに対する回答内容について

月	とても良い	良い	普通	あまり良くない	良くない
4-6月	6	2	0	0	0
7-9月	11	0	0	0	0
10-12月	19	4	0	0	0
1-3月	9	1	0	0	0
合計	45	7	0	0	0

満足度 100.0

平成22年度(サンプル数:34件、未回答項目あり)

1. 対応者の対応について

月	とても良い	良い	普通	あまり良くない	良くない
4-6月	7	1	0	0	0
7-9月	12	0	0	0	0
10-12月	8	0	0	0	0
1-3月	6	0	0	0	0
合計	33	1	0	0	0

満足度 100.0

2. 問い合わせに対する回答内容について

月	とても良い	良い	普通	あまり良くない	良くない
4-6月	5	3	0	0	0
7-9月	9	2	0	1	0
10-12月	6	1	0	0	0
1-3月	4	2	0	0	0
合計	24	8	0	1	0

満足度 97.0

※1 満足度:「とても良い」「良い」という選択肢を回答した割合

※2 照会対応アンケートは、4半期毎に取りまとめ集計

平成21年度 海外移住資料館 常設展示利用者アンケート

サンプル数:351件(未回答、複数回答項目あり)

【海外移住資料館だよりについて】

Q1: 掲載内容で一番面白かったものは

	巻頭インタビュー	資料探検隊	トピックス
4月	9	22	5
5月	10	38	16
6月	3	21	12
7月	4	19	2
8月	4	17	15
9月	10	30	12
10月	2	7	2
11月	2	5	4
12月	3	9	1
1月	3	9	2
2月	3	13	2
3月	2	27	7
合計	55	217	80

Q2: 記事の内容について

	とても良い	良い	普通	あまり良くない	良くない
4月	11	22	7	0	0
5月	18	20	16	1	0
6月	14	14	6	1	1
7月	16	9	1	1	2
8月	14	13	4	0	2
9月	25	12	10	0	0
10月	4	8	1	0	0
11月	8	1	2	0	0
12月	8	4	1	0	0
1月	5	3	5	0	1
2月	10	2	2	0	3
3月	15	9	1	0	0
合計	148	117	56	3	9

満足度(%)
79.6%

※1 満足度:「とても良い」「良い」という選択肢を回答した割合

平成22年度 海外移住資料館 常設展示利用者アンケート

サンプル数:146件(未回答、複数回答項目あり)

【海外移住資料館だよりについて】

Q1: 掲載内容で一番面白かったものは

	巻頭インタビュー	資料探検隊	トピックス
4月	3	20	3
5月	2	14	6
6月	0	3	2
7月	4	6	3
8月	4	10	3
9月	3	8	3
10月	1	11	3
11月	4	4	4
12月	4	2	2
1月	4	6	2
2月	1	8	2
3月	0	0	1
合計	30	92	34

Q2: 記事の内容について

	とても良い	良い	普通	あまり良くない	良くない
4月	12	7	4	1	0
5月	6	5	5	1	2
6月	2	0	1	1	0
7月	6	6	1	0	0
8月	11	6	4	1	1
9月	8	4	4	0	0
10月	7	2	3	0	1
11月	3	1	1	0	0
12月	3	3	0	0	1
1月	2	5	2	1	0
2月	7	2	1	0	0
3月	0	0	1	0	0
合計	67	41	27	5	5

満足度(%)
74.5%

※1 満足度:「とても良い」「良い」という選択肢を回答した割合

平成 21 年度 海外移住資料館 展示等実績

項目	事業名称・開催期間	事業実績等
企画展示①	「海を渡った花嫁物語」 10/16(金)～12/20(日)	資料館学術研究プロジェクトの研究成果に基づく展示。海外移住した女性達に関する資料を集め、女性移民の歴史を掘り起こすことを目的とし、歴史に埋もれがちな女性移民の声を聞き、その人生をたどり、海外の日系社会や移住先国での活動や貢献を紹介。 ・付帯イベント①：ギャラリートーク(10/16) ・付帯イベント②：シンポジウム「海を渡った花嫁たち—日本女性移民史の発掘」(10/17) ・皇后陛下御行啓(12/4) 【開催期間中入館者数：5,720名】
特別展示①	「徳光ゆかり写真展”BON(盆)”」 4/3(金)～4/19(日)	ペルー日本人移住110周年を記念して、写真家・徳光ゆかりが撮影した、ペルーに渡った日本人移住者の姿、子孫に残した日本文化や、ペルー社会に溶け込んだ日本的なものを捉えた写真展を開催。 【開催期間中入館者数：2,402名】
特別展示②	「横浜開港150周年記念ヨコハマ発海外移住」 4/28(火)～6/21(日)	横浜開港150周年にあわせた企画として開催。港横浜と移住者との関わりについて、戦後移住を主に取り上げ、「移住あっせん所」での暮らしや、移民船出航風景、移民船内の生活などを写真と映像で紹介。 ・付帯イベント：「さようならの季節」上映 【開催期間中入館者数：9,042名】
特別展示③	「ハワイ日系人歴史絵巻」 7/10(金)～7/26(日)	日本人のハワイ移住の歴史を長さ約20mの34巻、総延長620mの日本画絵巻物にした日本画家北條楽只氏の作品展示を通じてハワイ移民がたどった歴史を紹介。当資料館収蔵品の大規模コレクション(官約移民労働約定書、パスポート、写真)、442部隊軍服、記章等の資料もあわせて展示した。 【開催期間中入館者数：2,657名】
特別展示④	「アマゾン日本人移住80周年記念 アマゾンに渡った日本人の軌跡」 8/11(火)～10/4(日)	サンパウロ州のコーヒー農園労働者として始まった日本人移民とは別のルーツを持つ日本人移民の存在を、歴史的経緯から明らかにし、日本人がアマゾンにもたらした2大産業であるジュート(黄麻)とピメンタ(コショウ)をとりあげたほか、初期移住者の証言映像コーナーを設置。 ・付帯イベント①：FUNEプロジェクト(8/27～30)参加者数：141名 ・付帯イベント②：アマゾン熱帯果樹飲料の試飲・販売(8/27～10/4) ・付帯イベント③：山根一真氏特別講演会「アマゾンに生きる日系人～熱帯雨林とアグロフォレストリー～」(10/3)参加者数：71名 【開催期間中入館者数：8,955名】

イベント等①	「ミュージアム・クイズラリー よこはま 2009」 7/18(土)～9/1(火)	毎年夏休み期間中に開催。海外移住資料館を含む周辺地域の 16 施設で開催された。横浜開港 150 年にちなんだクイズを出題。 【参加者数：281 名】
イベント等②	「子どもアドベンチャー 2009」 8/19(水)～20(木)	体験学習等の一つの機会として、市内在住の児童生徒を対象に市役所をはじめとする様々な仕事を子どもたちが見学・体験することを目的に実施。当資料館では、「かるたで遊んでタイムスリップ！」を実施。 【参加者数：40 名】
公開講座①	アマゾン開拓 80 周年記念シンポジウム「実業家と移住」(11/28)	岩崎久彌、渋沢栄一、武藤山治、平生釦三郎という 4 人の実業家を取り上げ、彼らがブラジルでの移住事業に対してどのような夢や構想を抱き、それを企業活動としてどう具体化し、実現させたのかを紹介。またこれらの 4 事例を比較して、両国政府や移住者との関係、日伯経済関係に与えた影響などについても討論した。 (財団法人渋沢栄一記念財団との共催) 【受講者数：54 名】
公開講座②	「日系ブラジル人の短歌と俳句」(12/12)	本講演では、講師に細川周平（国際日本文化研究センター教授）氏をむかえ、俳句についてはブラジル季語、短歌については母語の途絶について論じられ、海外の日本語文学を考える糸口を考察した。 【受講者数：31 名】
公開講座③	「人と人との絆が築く国際関係」(12/20)	平成 18～20 年度の 3 年間にわたって実施された当資料館学術研究プロジェクト「二つの国の絆を結んで：『移民』の日本への貢献を探る」の研究報告を兼ねたシンポジウム。 【受講者数：42 名】

平成 22 年度 海外移住資料館 展示等実績



項目	事業名称・開催期間	事業実績等
特別展示①	「移民の暮らし」ー海外日系社会における「食す」「伝える」「楽しむ」「祝う」 3/9日(火)～5/8(土)	「日系コミュニティ」に対するこのような問いをテーマに、①食す、②伝える、③楽しむ、④祝う、4つのキーワードを設定し、セクションを構成。未公開収蔵資料(特に標本類)を中心とした展示内容。 ・付帯イベント: ギャラリートーク (4/11, 25) 【開催期間中入館者数: 5,437名】
特別展示②	「在日日系人の子ども絵画コンテスト『私のせかい 自分のメリーとは』作品展」 5/25(火)～6/27(日)	日系人留学生として日本で学ぶ日系の若者たちが主催し、日本で暮らす外国籍の子どもたちを対象に昨年秋に開催された絵画コンテストの応募作品を、計800点展示。日本で暮らす外国籍の子どもたちの「メリー(楽しいこと)」が表現された作品を、お楽しみください。 ・付帯イベント: 公開シンポジウム「日系人の子どもたちはいま」(5/30) 【開催期間中入館者数: 3,538名】
特別展示③	「日系二世兵士の見た終戦直後の日本」 8/13(金)～10/11(月)	第二次世界大戦時にアメリカ兵として従軍した日系二世のリチャード・H・コサキ氏より寄贈された、終戦当時としては珍しい、カラーで残っている写真を展示。 【開催期間中入館者数: 6,504名】
特別展示④	「『収容所にて』～第二次大戦下の北米日系人～ヘンリー杉本作品展」1/22(土)～3/11(金)	第二次世界大戦中に収容所生活を余儀なくされた日系人たちの様子を生々しく描写した、ヘンリー杉本の絵画作品展を開催。 ・付帯イベント: ギャラリートーク(和歌山市民図書館 中谷智樹氏) (1/23) 【開催期間中入館者数: 3,560名】
イベント①	「ミュージアム・クイズラリーよこはま 2010 ヨコハマ再発見」 7/17(土)～8/31(火)	毎年夏休み期間中に開催。海外移住資料館を含む周辺地域の16施設で開催された。横浜開港150年にちなんだクイズを出題。 【参加者数: 243名】
イベント②	「かながわ子ども・子育て支援月間 移民かるたで遊ぼう!」 「子どもアドベンチャー2010」 8/18(水)～19(木)	神奈川県「かながわ子ども・子育て支援月間」と、横浜市教育委員会の実施する「子どもアドベンチャー」の合同企画。当資料館では、「かるたで遊んでタイムスリップ!」を実施。 【参加者数: 85名】
イベント③	鑑賞支援ロボット「ロボビー」 がやってくる 8/22(日)	埼玉大学理工学研究科と東京工科大学メディア学部が共同で開発を進めている鑑賞支援ロボットのデモンストレーション。「ロボビー」が展示場内で来館者へ実際に展示案内を実施。

イベント等④	<p>「ドキュメンタリー映像上映会」 12/00 ~12/00 1/4(火)~1/14(金) 2/1(火)~2/27(日)</p>	<p>日系社会の歴史と今を描いたドキュメンタリー映像上映会を開催。</p> <p>①BIG DRUM: Taiko in the United States (「和訳: 北米太鼓の響きーコミュニティづくりと日系アイデンティティー」 30分、2005年全米日系人博物館制作)</p> <p>②Textured Lives: Stories from the Plantations of Hawaii (和訳「織りなす物語ーハワイに渡った日本人女性と着物ー」 50分、2010年全米日系人博物館制作)</p> <p>③日本人ブラジル移住 100周年記念「100年目のプレーボール」(100分、2008年BSジャパン制作)</p> <p>【入場者数: 307名】</p>
公開講座①	<p>「川柳を習い日本が近くなりー 絵本・川柳・写真屋さんの在米 39年ー」 6/4(金)</p>	<p>1971年に渡米して以来在米 39年、戦後のアメリカ移民としての体験を持つサニー関氏をむかえ、川柳、写真館、日本民話をキーワードに講演。</p> <p>【受講者数: 29名】</p>
公開講座②	<p>「在日日系人による送金 歴史と現状」 6/19(土)</p>	<p>1990年6月の入管法改正から20年目の節目にあたり、在日日系人の歴史と現状を、当事者である日系人側の視点から振り返り、これからについて考えるきっかけを提供する講演を開催。</p> <p>【受講者数: 32名】</p>
公開講座③	<p>「『ユキエ』と『レオニー』ー映画のなかの海を渡った女性たちー」 9/26(日)</p>	<p>映画監督 松井久子氏をむかえ、前半は同監督のドキュメンタリー作品「望郷の女たち」を上映。後半はこれまで、テレビや映画という映像媒体を通し、その後、社会の中で埋もれがちな無名の一般女性を、さまざまな形で表現してこられた松井監督が、海を渡った素敵な女性たちの歴史と活躍について講演。</p> <p>・付帯イベント: 資料館見学ツアー(9/26)</p> <p>【受講者数: 62名】</p>


平成 21 年度及び平成 22 年度 海外移住資料館 国内外の移住資料館との連携状況・情報提供状況

1. 新規製作・公開のサイト

【平成 21 年度】

項目	内容	トップページ図
【連携サイト】 「アルゼンチン日本人移民史」	アルゼンチンに日本人定着移民が入植してから、平成 18(2006)年で 120 年目を迎えた。世代交代が進む中、先駆者の語り、体験談、資料などが失われていく現在、日系の歴史を若い世代の人たちが読み継ぎ、アイデンティティを喪失しないようにするため、総合的な移民史刊行が急務であった。在亜日系団体連合会は、この移民の実像を語り継いでいくために移民史編纂を開始し、平成 18(2006)年 9 月に約 6 年間の歳月を経て、「アルゼンチン日本人移民史戦前・戦後編(それぞれ日本語版・スペイン語版)」計 4 巻が完成した。本サイトは、同移民史の内容をもとに web コンテンツとして公開している。 URL: http://dms-fana.eg.jomm.jp/	
【資料館サイト】 企画展示「海を渡った花嫁物語」	このサイトは、平成 21 年年 10 月 16 日から 12 月 20 日まで資料館にて開催された企画展『海を渡った花嫁物語 夢と希望を胸に時代を先駆けた勇気ある「花嫁」たち』の展示内容を記録するものである。展示品の紹介や証言映像以外にも、開催中の様子などを盛り込み、12 月 25 日に一般公開した。 URL: http://www.eg.jomm.jp/originalequipmentmanufacturerpreview/hanayometenjishitsu/top.html	

【平成 22 年度】

項目	内容	トップページ図
【資料館サイト】 特別展示「移民の暮らし」	このサイトは、平成 22 年 3 月 9 日から 5 月 8 日まで資料館にて開催された特別展「移民の暮らし」の展示内容を記録するものである。展示品の様子等を紹介する内容で、12 月 8 日に一般公開した。 URL: http://www.jomm.jp/imin_kurashi/index.html	

2. 既存サイトの運用

【平成 21 年度～平成 22 年度】

項目	内容
【連携サイト】 広島市デジタル移民博物館	平成 21 年 4 月 22 日にリニューアル対応、サンプル製作。その後、コンテンツ修正を行い平成 22 年 2 月 19 日にリニューアル版を公開した。

3. 企画製作中のサイト

【平成 21 年度～平成 22 年度】

項目	内容
【連携サイト】 ブラジル・サントスコffee博物館 サイト	製作に向けてサンプルサイト構築後、データ投入済。不足資料等の有無について現地と調整継続中。継続対応。
【連携サイト】 カナダ・日系文化会館サイト	サンプルサイト構築後、サイトの方針固まる。平成 23 年 3 月現在、投入データを先方にて選定中。
【資料館サイト】 アマゾン 80 周年記念展示サイト	サイト構築後、データ投入済。継続対応。
【連携サイト】 ペルー日本人会サイト	サンプルサイト構築後、サイトの方針固まる。平成 23 年 3 月現在、投入データを先方にて選定中。
【連携サイト】 ブラジル日本移民史料館サイト	サンプルサイト構築後、サイトの方針固まる。平成 23 年 3 月現在、投入データを先方にて選定中。